

大麦管理情報（防除）

8年産大麦の生育は、地域や播種日による生育ステージの差が大きいことから、必ず出穂状況を見極め、最も効果的な防除時期の穂揃期（開花始め）とその7日後の2回防除を、晴れ間を利用して、確実に実施する。

1 防除時期の目安

	1 回目防除	2 回目防除
防除時期	穂揃期（開花始め） 4 月 19 日頃	1 回目防除の 7 日後 4 月 26 日頃
液剤体系	トップジンM水和剤 1,000 倍（150L/10a）	シルバキュアフロアブル 2,000 倍（150L/10a）
粉剤体系	トップジンM粉剤DL （4 kg/10a）	ワークアップ粉剤DL （3 kg/10a）
無人航空機 体系	トップジンMゾル 8 倍（0.8 L/10a）	シルバキュアフロアブル 16 倍（0.8 L/10a）

2 防除の注意事項

- ・検査規格における赤かび粒の混入限度は 0.0%と厳しい基準となっているため、ほ場ごとの出穂状況を必ず確認し、最も効果的である穂揃期（開花始め）とその7日後の2回の防除を実施しましょう。
- ・防除効果は粉剤より液剤で高いため、特に1 回目の防除は、可能な限り液剤を使用しましょう。
- ・防除のタイミングがずれたり、1 回目と 2 回目の間隔があくと、防除効果は低くなります。防除適期に降雨が続く場合でも、適期に散布することを優先し、晴れ間をみて確実に防除しましょう。
- ・防除効果を高め、周辺作物や住宅地へ飛散（ドリフト）しないように、風の弱い時間帯に散布しましょう。

春の農作業安全運動 3月1日～5月31日